

# 鹿角八幡平ふるさと森林づくり植樹祭



場所: 秋田県鹿角市八幡平熊沢国有林3135林班ハ小班  
(八幡平大沼そば)

日時: 平成22年9月25日(土)10:00~12:00

植栽面積・本数: 1.5ha・1万5千本

参加者数: 1,562名

<植栽樹種: 広葉樹11種類(宮脇方式)>



東北森林管理局・米代東部森林管理署



COP10 パートナシップ事業

平成22年9月25日

# 鹿角八幡平ふるさと森林づくり植樹祭

主催：鹿角八幡平ふるさと森林づくり実行委員会 東北森林管理局 米代東部森林管理署 秋田県 鹿角市 米代川源流自然の会



国民の森林・国有林





















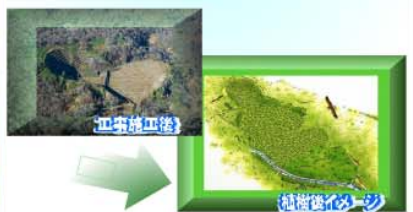
また、この事業を進めるにあたっては、地域の豊かな森林を守り、育て、未来に引き継いでいく「鹿角八幡平ふるさと森林づくり植樹祭」として実施することといたしました。

なお、実施にあたっては、世界、日本各地において、荒廃地復旧緑化において実績のある宮脇昭横浜国立大学名誉教授を植樹指導にお迎えし、潜在自然植生の活用による森林再生に取り組むものです。

申すまでもなく、森林は、地球温暖化防止、生物多様性の保全、災害の防止など多くの働きを持っています。

本植樹祭のテーマを「ふるさとの木によるふるさとの森林づくり」といたしました。

多様な森林づくりを通して、ふるさとの森林を元気に、地域を元気に、そして地球を元気にする森林再生の取組みをここ鹿角市八幡平の地から発信いたします。



## 植樹指導講師のご紹介

**宮脇 昭 博士**



### プロフィール

昭和3年岡山県生まれ。横浜国立大学名誉教授、(財)地球環境戦略研究機関国際生態学センター長、NPO地球の緑を育てる会顧問。

これまで手がけた森づくりは、世界各地の1600カ所以上に及ぶ。現在も精力的に世界・日本各地の森づくりに取り組んでおり、日本一木を植えた男として知られている。

### 宮脇方式『植樹論』

土地の主役の木を選定し、三役、五役となる複数の樹木を混植・密植することで、自然淘汰、共存共栄して、管理を必要としない森が形成される。関東周辺では、明治神宮などの鎮守の森に見られるように、シイ、タブ、カシ、クス等の常緑照葉樹が主役の木。異なった樹木がそれぞれの特性を生かしながら、それぞれ少しずつ我慢をして、辛抱強く生きる姿が最高の自然環境であると提唱している。

## 現地へのアクセス



## いのちの森林づくり



林野庁・東北森林管理局

<http://www.ri-ya.naff.go.jp/tohoku/>

鹿角市八幡平ふるさと森林づくり植樹祭実行委員会事務局

☎ 018-836-2175 (東北森林管理局)  
☎ 0186-50-6130 (米代東部森林管理署)

# 鹿角八幡平ふるさと森林づくり 植樹祭 ガイド

## ふるさとの木によるふるさとの森林づくり



と き:平成22年9月25日(土)

ところ:秋田県鹿角市八幡平 熊沢国有林  
(八幡平大沼そば)



主催/鹿角市八幡平ふるさと森林づくり植樹祭実行委員会

(東北森林管理局・秋田県・鹿角市・米代川流域自然の会)

## 進行スケジュール

- ① 植樹祭会場集合 10:00
- ② 式典 10:15~10:50
  - ・開会のことば
  - ・主催者あいさつ
  - ・来賓あいさつ
  - ・来賓紹介
  - ・植樹方法の説明(宮脇 昭博士)
- ③ 植樹 10:55~12:10
  - ・植樹
  - ・記念標柱建立
  - ・閉会のことば

<昼食>

※ 送迎バス運行時刻(鹿角市役所~植樹会場)

行き 出発 9:00 到着 10:00

帰り 出発 13:00 到着 14:00



## 開催にあたって

秋田県北部を流れる米代川。その源流部に位置し、水と緑と多くの生物の命を育む鹿角市八幡平熊沢国有林。この一帯には、人々の心を癒す美しい自然景観と豊かな温泉、森林セラピー基地、地熱発電施設などがあり、まさに豊かな自然と人間との共生の姿がここにあります。

一方、同国有林は、平成9年5月に大規模な自然災害「澁川・赤川温泉土砂災害」が発生した地でもあります。発生から13年が経過しました。多くの人に親しまれた2つの温泉を壊滅させたこの災害は、同時にブナ、ミズナラなどの大切な森林も消失させました。



東北森林管理局では、災害発生直後から地域の安全安心に向けた復旧対策を進め、現在においては、地すべり対策工の完成により地盤の安定が保たれています。

そして、今年度は、次のステップとして、災害により失われた森林の早期再生に向けて、新たな広葉樹を活用したモデル森林造成事業に取り組むことといたしました。



## 植えていただく苗木 (11種類)

1万5千本  
(お一人10本程度)

区域面積 2.0ha  
植栽面積 1.5ha



### フナ

5,250本  
(35%)

### ミスナラ

3,750本  
(25%)

### ケヤキ

1,500本  
(10%)

### クリ

750本  
(5%)

### カツラ

750本  
(5%)

### ホオノキ

600本  
(4%)

### ベニタイヤ

600本  
(4%)

### ヤマモミジ

600本  
(4%)

### トチノキ

600本  
(4%)

### サワグルミ

300本  
(2%)

### アオダモ

300本  
(2%)

※ (%)は、樹種別の割合

## 植樹会場案内図

・場所名: 熊沢国有林3135林班ハ小班  
・標高: 900m



## 会場等のご案内について

- ★ 皆さんの受付番号、バスの番号、集合場所の着席列番号、植え付け箇所 (ブロック) 番号は、すべて一連 (同じ) の番号となっています。(ご確認の上、お間違えのないようお願いいたします。)
- ★ バス添乗員等は、皆さんと同じ番号のゼッケンを装着し、受付開始時から植樹祭終了までご案内、お手伝いをさせていただきます。
- ★ 植樹祭会場到着後、バス添乗員等が集合場所までご案内いたします。
- ★ 集合場所のそれぞれの着席列 (ブルーシート) の前後には、番号プラカードを表示設置していますので、案内にしたがってご入場いただき、2列にお座り下さい。
- ★ 集合場所のそれぞれの着席シートには、軍手、移植ペラを用意してございます。
- ★ 式典終了後のそれぞれの植え付け場所への移動に当たりましては、会場アナウンスの案内にしたがってゆっくりとお進み下さい。
- ★ 各植え付けブロックの苗木は、周囲の一箇所にまとめて置いております。(番号表示)
- ★ 不明な点等がございましたら、植樹担当スタッフ等にお気軽にお声をお掛け下さい。

## 苗木の植え方



① 白の石灰で表示してある場所に、移植ペラを使い穴を掘ります。  
石灰は肥料となるので、混ぜながら掘ります。



② 穴は、ポットの大きさより一回り大きく掘ります。  
(深さは、1.5倍程度)  
掘り取った土は、穴の脇に置きます。



③ 苗木をポットが付いたまま穴に入れ、しっかりと埋めて土をかけます。  
※ポットは、「生分解性ポット (とうもろこし繊維製品)」を使用しているのので、植え付け後は、地中のバクテリアの働きにより徐々に分解します。



④ ポットが出ないように土をかぶせ、その周りを両手でしっかり押さええます。

★ 各樹種毎の苗木の植え付け位置については、フナを中心に、それぞれの樹種がおおむねバランスのとれた配置となるよう植え付け願います。(樹種別割合を参照)

## ご注意いただきたいこと

- 会場内は、滑りやすい土や石ころなどがありますので、歩行に当たっては、すべて転倒などのないよう足下には十分気をつけてお進み下さい。
- 立ち入り禁止区域 (会場より北方向斜面 (ガケ、噴気あり) など) には絶対に立ち入らないようにお願いいたします。(危険表示及びロープで囲っています。)
- 集会場所からそれぞれの植え付け場所までの移動の間で、渡り通路 (渡し板) を通過する場合は、足下の安全を確認しながら、ゆっくりとお進み下さい。
- 移植ペラは、鉄製なので、刃切などケガのないよう取り扱いには十分注意して下さい。
- 植え付け作業に当たっては、周囲の安全を確認しながら、ゆっくりと作業を行って下さい。
- 万が一体調が悪くなった、切り傷などを負ってしまった場合は、お近くのスタッフにお声をお掛け下さい。



鹿角市  
八幡平

# 「命の森」再生へ

## 澄川温泉跡地で植樹祭

ブナなど  
1万5000本  
市民ら1600人参加



地元の小学校児童、教職員らも参加した植樹祭（鹿角市八幡平・熊沢国有林）

9年5月に鹿角市八幡平で発生した澄川・赤川温泉土砂災害で失われた森林を再生する「鹿角八幡平ふるさと森林づくり植樹祭」が25日、八幡平・熊沢国有林で行われた。国内外の荒廃地復旧緑化で実績がある宮脇昭・横浜国立大学名誉教授の指導で、11種類の広葉樹1万5000本を植樹した。市民を中心に約1600人が参加した。



東北森林管理局、県、市、米代川源流自然の会で構成する植樹祭実行委員会の主催。災害から13年が経過し、地すべり対策工が整い、地盤の安定化が図られたことで企画された。

現場は国道34号の赤川橋から、資材運搬道(旧市道)を東方

に約2km進行した国有林内。崩落地跡付近を平らにならした1・5段区域が植樹に充てられた。土地本来の植生を踏まえた多種の樹木を混植、密植する宮脇名誉教授の植樹論「宮脇方式」で進んだ。現地で行われた式典で、矢部三雄・東北森林管理局長が「地すべりで失われた森林を、宮脇先生の指導のもとで、皆さんにたくさん木を植えていただきたき、よみがえらしたい。将来、すばらしいブナの森になることを願う」とあいさつ。

児玉一市長、中野節副知事のあいさつがあった。宮脇名誉教授が「官民挙げて本物の命の森をつくってものえることは、私の生涯における最も感動的なこと」と述べた。

また、ブナ、ミズナラ、ケヤキなどの苗木植樹の方法を説明する宮脇名誉教授

### 「つながりあるストーリー」

産業界と行政の連携

道総合企画本部観光プロジェクト次長、小川正人さん(全日本空輸執行役員)の5人がバネラーを務めた。産業観光の推進など



北産業観(館)

町の  
とい  
組み  
化と  
ラン



# 「鹿角八幡平ふるさと森林づくり植樹祭」その後（報告）

## 苗木の生育状況(H23.7.21現在)について

標高 1,000 mの豪雪地、地すべり災害発生跡地、強酸性土壌という自然条件の厳しい環境下で、1,600名の皆さんの手で植えていただいた11種類の広葉樹苗木は、伸長の差はあるものの、ほぼ9割以上が根をしっかりと張って生育している状況にあります。

なお、うち2割ほどが、雪による折損が見られますが、側枝を伸ばし、新たな芽吹きを見せています。（写真参照）

☆がんばっている苗木たちから  
東日本大震災被災地に向け

がんばろう東北！



（ブナ）



（ヤマモミジ）



（サワグルミ）





(ブナ)



(カツラ)



(ホオノキ)



(ベニイタヤ)

